

EeTAFCON(イータフコン)研究会の設立

近年、カーボンニュートラルや循環型社会の実現に向けた動きが世界的に加速しており、建設業界でもその実現に寄与する新しい材料や工法の研究開発が進められています。



中川ヒューム管工業株式会社と一般財団法人電力中央研究所は、従来のポルトランドセメントコンクリートに比べてCO₂排出量を約70%削減可能な、フライアッシュ等の産業副産物を主原料とする次世代コンクリートEeTAFCON*¹を共同で開発し、プレキャスト製のコンクリート製品として社会実装を進めてきました。

カーボンニュートラルや循環型社会の実現に向けてEeTAFCONの普及を加速していくためには、全国各地のコンクリート製品会社と協力し、その供給網を拡大することが必要です。また、品質評価法の確立やコストの低減、さらには酸劣化抵抗が高い等の特徴を活かした市場競争力の高い商品開発を行う必要があります。

このような背景から、コンクリート製品会社に加えて、サプライチェーンを構成する建設会社、電力会社および学識経験者等を会員とする「EeTAFCON研究会」を設立しました。これまで蓄積してきたEeTAFCONの製造に関するノウハウを他のコンクリート製品会社に水平展開し、新たな製品開発および普及を加速していきます。また、本研究会を通じて今後はコンクリート製品に限らない本技術の幅広い普及展開も目指して参ります。

詳しくは、下記のEeTAFCON研究会ホームページをご覧ください。
<https://www.eetafcon.com/>

*1：EeTAFCON®：石炭火力発電所等から副産されるフライアッシュ等を主原料とするサステナブルな次世代コンクリート。コンクリート製造時のCO₂ 排出量削減とともにフライアッシュ等の有効利用が可能。